

受付番号

25-009

当該機器の概要及び想定する実証試験について

事業者名	マッスル株式会社
住所	大阪府中央区今橋 2-5-8 トレードピア 淀屋橋 6 階

1. 機器の名称（※仮称でも可）

名称： ロボヘルパー SASUKE

写真：



2. 機器の概要

(1) 対象者、目的、機能、有用性

ベッドから車椅子等へ移動するときに介助が必要な人が対象で、被介護者を容易にベッドから車椅子へ移乗できるように手伝う介助ロボットである。

ベッドから車椅子への移乗介助時の介護者の身体的負担が軽減することが出来る。

(2) 既存の機器と比べて、優れている点

既存の移乗介護機器として移動用リフトが揚げられるが、そのリフトと比べて、スリングシートの装着が簡易であり、操作も簡単に行える。 またリフトと比較して被介護者の精神的負担は吊り下げられるという物的扱いと比べて、下から抱えられるという安心感を与えることができる。

(3) 機器に関するリスクアセスメント（安全性の評価と確保対策）

ISO12100 に基づき、リスクアセスメントシートを作成し、3 ステップメソッドを用いて、安全性の評価および確保対策を施した。

(4) 製品の販売開始予定時期

平成 26 年度中には販売開始する予定

(5) 想定する小売販売価格及び年間販売数

想定小売価格は 60 万円前後、 年間販売量は当初 500 台の予定

(6) 想定する顧客（在宅向けあるいは想定する介護施設等の種類等）

販売当初は介護施設（特養、老健）または医療施設に販売し、機器の普及および認知度を向上させて、在宅へ向けて販売・レンタルする。

3. 想定する実証試験の内容

(1) 実証試験を行うことにより明確にしたい事項

既存機器（リフト）に比べての有用性（取り付け時の所要時間、操作等）の定量値評価
および、人力による移乗時との比較および負担度の定量評価

(2) 実証試験の具体的な内容

既製リフト機器と評価機器を両方持ち込み、それぞれ操作して評価する
機器の準備からシートの取り付け、車椅子への移乗作業の流れ一連の所要時間を比較する。
また、人力による移乗介護との所要時間および労力度を比較する。左記人力での移乗補
助動作の解析が必要で、動画解析等工学的解析を行うことにより人力動作の数値化を実現
し、機器使用時との比較を定量的データに基づき行えるようにする。

(3) 被験者等の要件及び想定人数

下肢または上肢下肢ともに障害があり、座位姿勢を保持できない被介護者が被験者となる。
実証試験の延べ人数は40～60人程度を想定。

(4) マッチングを希望する実証試験協力施設等の種類

特別養護老人ホーム等

(5) 実証試験に関して指導・助言を期待する主な内容及び専門家

上記対象被験者等の移乗介助現場を良く知る介護福祉士、看護師および医師から、移乗介
助全般にわたる留意点、要望点またその特徴・特性等を助言いただきたい。

(6) 調査のスケジュール

平成25年11月から平成26年2月（倫理審査のスケジュールにより11月以降調査可能）